

速報！2024年度のごみ排出量

市では、更なるごみ減量化を進めるため、2022年度から「ごみ有料化」を開始しました。開始3年目のごみ排出量(速報値)がまとまりましたので、お知らせします。

1. 2024年度のごみ排出量(速報値)

2024年度のごみ排出量は47,030tとなり、2023年度と比較して1.5%の減少率、「ごみ有料化」開始前の2021年度と比較して16.2%の減少率となっています。

着実にごみの減量効果が表れており、引き続きごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。

項目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ごみ	排出量	56,138t	47,933t	47,757t	47,030t
	増減率	0.7%	▲14.6%	▲0.4%	▲1.5%
燃やせるごみ	排出量	48,703t	43,569t	42,993t	42,309t
	増減率	▲1.1%	▲10.5%	▲1.3%	▲1.6%
燃やせないごみ	排出量	6,537t	3,742t	4,150t	4,085t
	増減率	14.5%	▲42.8%	10.9%	▲1.6%
大型ごみ	排出量	898t	622t	614t	636t
	増減率	8.8%	▲30.7%	▲1.3%	3.6%
資源物	排出量	15,266t	15,760t	15,449t	15,564t
	増減率	6.2%	3.2%	▲2.0%	0.7%

2. 更なるごみの減量化・資源化に向けて

(1) プラスチック製容器包装類の分別



「プラスチック製容器包装類」は、プラマークが付いているもの(プラスチック製の容器や包装)のみが対象です。軽くすすぐなどして、汚れを取り除いてから透明・半透明の袋に入れて出してください。汚れが残っているとリサイクルすることができない場合や、集積場所でカラスに狙われる場合があります。

(2) フードドライブの参加

「フードドライブ」とは、まだ食べられるのにも関わらず捨てられてしまう食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンクや地域の福祉施設などに寄付する活動のことです。

ご家庭で購入した食品やお中元・お歳暮でいただいたものなどで、ご自身で消費しきれない食品があれば、市役所本庁舎2階資源循環課までお持ちください。



(3) 家庭用生ごみ処理機の活用

家庭から出る生ごみを処理(減量・リサイクル)する家庭用生ごみ処理機の購入費の一部を補助しています。生ごみ処理機を使用することで、生ごみの排出量を少なく、または、堆肥などにリサイクルすることができます。

ご購入を検討される場合は、資源循環課までお問い合わせください。

